

産業構造審議会 産業技術環境分科会 廃棄物・リサイクル小委員会 容器包装リサイクルワーキンググループ（第16回）（書面審議）-議事要旨

日時：平成26年10月29日（水曜日）

出席者

産業構造審議会容器包装リサイクルワーキンググループ委員：

郡島座長、有田委員、石塚委員、織委員、川村委員、鬼沢委員、小嶋委員、酒巻委員、佐々木委員、篠木委員、杉山委員、鈴木委員、砂田委員、宗和委員、辰巳委員、永田委員、根本委員、花澤委員、馬場委員、平尾委員、水戸川委員、宮田委員、村山委員、百瀬委員、森塚委員、森本委員、柳田委員

議題

容器包装リサイクル法の義務量算定に係る量、比率等について

議事概要

議題について、書面審議により意見を聴取した。提出された意見は次のとおり。

委員の意見

- 大規模な調査票調査が毎年行われているが、費用、事業者等の負担を考慮し、より効率的な調査や算出が行われるような改善が望まれる。
- 資料2、表1-2において分別収集見込量と再商品化見込量の少ない方を基礎としているが、両者の乖離は少なくとも、少ない方を基礎とする理由の明示、および乖離の原因の分析が必要である。
- 結果は、その目的や理解の仕方を含め、利害関係者はもとより、国民に対してよりわかりやすい形で提示することが望まれる。
- 容器包装リサイクル法の義務量算定に係る量、比率等については、排出量からの算定を見直し、販売量からの算定方法が望ましい。

関連リンク

[産業構造審議会 産業技術環境分科会 廃棄物・リサイクル小委員会 容器包装リサイクルワーキンググループの開催状況](#)

お問合せ先

産業技術環境局 リサイクル推進課
電話：03-3501-4978
FAX：03-3501-9489